

学習支援が必要な中学生・高校生等を対象とした学習支援～地域住民の協力を得た地域未来塾の充実～

家庭での学習習慣が十分に身につけていない中学生・高校生等を対象に大学生や元教員等の地域住民の協力やICTの活用等による、原則無料の学習支援である「地域未来塾」を増加させていくことで貧困の負の連鎖を断ち切ることを目指す(平成27年度から開始)。

地域未来塾について

28年度予算額: 269百万円(前年度予算額207百万円)
学校・家庭・地域の連携協力推進事業の内数

中学生・高校生等を対象に、大学生や教員OBなど地域住民の協力やICTの活用等による学習支援を実施

- u 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生・高校生等への地域と学校の連携・協働による学習支援を実施
- u 教員を志望する大学生などの地域住民、学習塾などの民間教育事業者、NPO等の協力により、多様な視点からの支援が可能

- * 学習支援が必要な中学生・高校生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着
- * 高等学校等進学率の改善や学力向上



学習機会の提供によって、貧困の負の連鎖を断ち切る

全生徒を対象とした学習支援の事例

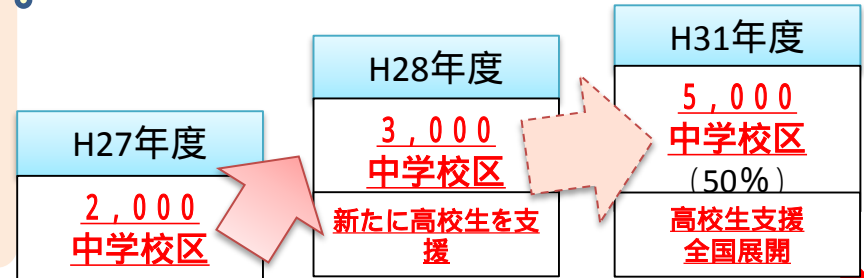
【東京都内のある中学校の取組】

< 放課後学習支援 >

- ・対象は中1～3の希望者
- ・年間約80回(学期中の週2回(2時間程度))
 - * 学校の空き教室を利用、無料
- ・指導員による個別指導と自習
 - * 指導員: 教員志望の講師や大学生など



平成31年度末までの目標数



ICTの活用等により、学習支援を一層促進し、可能な限り早期に目標達成

全ての都道府県、政令市等において、ICTを積極的に活用した地域未来塾による学習支援を新たに展開

ICT機器等を中心とした開設備品等の整備 3.5億円(全国112箇所)

【整備例】タブレット、LAN設備、プロジェクター など

平成27年度補正予算額 3.5億円